

● 2016年（平成28年）7～9月

1 社会・治安情勢

（1）シリア国境における不法入国等

ア 6月27日、ヨルダン軍は、北東部の国境においてシリアからヨルダン領内に不法に越境しようとした男性1名に対して然るべく対処し、同不法越境者は死亡した（6月29日付各紙）。

イ 7月2日、国境警備隊は、隣国からヨルダン領内に不法に越境を企図した不審者を拘束した（7月4日付各紙）。

ウ 7月14日、ヨルダン国境警備隊は、ヨルダン西部のイスラエル国境から不法にヨルダン側に越境しようとしたイスラエル人1名の身柄を拘束した。本件は極めて稀なケースと考えられるが、事案の詳細については明らかにされていない。同日、シリア国境からヨルダン側に不法に越境しようとしたシリア人4名の身柄を拘束した。逮捕されたシリア人は大量の麻薬（カプタゴン78万錠、大麻180シート）を所有していた（7月11日付各紙）。

エ 8月5日、国境警備隊は、ヨルダンからシリアへ不法越境を企図した1名を殺害し、もう1名を負傷させた。また同日別途、国境警備隊は、ヨルダンから近隣国への不法越境を企図した2名を逮捕した（8月7日付ヨルダン・タイムズ紙）。

（2）シリア国境地帯での衝突激化

ヨルダン北部のシリア国境に隣接するラムサ市の住民らの証言によれば、8月28日夜から29日夜にかけて継続的にミサイルの爆発音や激震を体感し、シリア危機発生以降で最も激しい轟音が2日間に亘って続いたとのことである。昨今、反体制派がナシーブ国境を掌握して以降、シリア南部においてはシリア政府軍と反体制派との戦闘が激化しており、ラムサ市周辺にもミサイル等が落下している（8月30日付当地ガド紙）。

（3）下院議会選挙における騒擾事案

9月20日の下院議会選挙に伴い、ヨルダン中部、カラク県（アンマンから南に焼く30km）、イルビド市（アンマンから北に約100km）、ラムサ（アンマンから北に90km）、マダバ（アンマンから南に40km）の各地で騒擾事案が発生したことを、独立選挙委員会が発表している。ラムサでは、投石・タイヤを燃やして道路封鎖が行われた。また流れ弾で女性1名が負傷した。マダバでは、騒擾事案や道路封鎖があり、憲兵隊が催涙弾を使用した。

この他では、マアーンの変電所3か所で発砲事案が発生して停電した。タフイーレの騒擾事案に対して憲兵隊が催涙弾を発砲した。パルカでは、アンマン・サルト幹線道路をタイヤを燃やして封鎖した。バーディア北部では、投石及びタイヤを燃やし、サファイー・バグダッド幹線道路を封鎖した。

22日には、イルビドで投石・道路封鎖などが発生し、憲兵隊が介入した。ティルアッラでは商店街への放火・破壊行為が発生した。ザルカでは、投石・タイヤを燃やしての道路封鎖があり、憲兵隊が催涙弾を使用した。

24日には、アンマン東部で祝砲の流れ弾で青年が死亡した。

(9月21日、22日、23日、24日、25日付ヨルダン・タイムズ紙他各紙)

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) ヨルダン国境警備隊による本年中のこれまでの麻薬取締状況

ア 麻薬錠剤の押収量は既に昨年1年間と比べて12%増

イ 麻薬密輸企図を阻止した件数：280件(昨年中218件)

ウ 押収した麻薬錠剤(主にカプタゴン錠剤)：2,300万錠(昨年1,900万錠)

エ 麻薬関連事案の検挙件数：85件(昨年1年間で52件)(5月6日-8日付ヨルダン・タイムズ紙)

(2) ヨルダン各地の銃撃戦等

ア 8月9日、マアーンにおいて、治安当局が2014年8月に発生した警察官殺害事案の容疑者の潜伏先を急襲したところ、銃撃戦となり、同容疑者は死亡し、他の容疑者2名及び憲兵隊員2名が負傷した。(8月10日付当地各紙)。

イ 8月9日、治安当局はイルビッドにおいて、重要指名手配犯5名を逮捕した。当局は違法な露天商の摘発に乗じて、これら5名の身柄を拘束した(8月10日付当地各紙)。

ウ 8月15日、ヨルダン警察は14日のアンマン近郊における車上銃撃事案の容疑者として男性1名を逮捕し、検察当局は同事案の共謀容疑で8名を逮捕した。警察当局によれば、容疑者は私恨により、車両で被害者の車両を追跡し、信号で被害者が停車した際に車から降りて銃撃を行った(8月16日付ヨルダン・タイムズ紙各紙)。

(3) マアーンにおける発砲事案

ヨルダン配電会社(EDCO:Electricity Distribution Company)関係者によれば、8月22日夜、複数の攻撃者がマアーン県にある配電所に対して発砲した。

同社がマアーン県知事に対して然るべき警備強化を要請しているにも拘わらず、今回を含め発砲事案は本年に入って既に4回発生しているとの由(8月24日付ヨルダン・タイムズ紙)。

(4) 死海北部の南シューナ地区における騒擾事案

9月5日、治安当局は集中的な麻薬取締の一環で、死海北部の南シューナ地区(アンマンから30キロに位置)に潜伏している4名の指名手配犯を逮捕し、

指名手配犯の兄弟等の家宅捜査を行った。同日午後、南シューナ地区で治安当局による強制捜査・逮捕を不満とする若者らによる幹線道路の封鎖、放火や投石行動等が発生し、憲兵隊と衝突した。憲兵隊は威嚇射撃、催涙弾を使用し事態を収束させた。同日中にはアンマン・南シューナ間の幹線道路は再開したとの由（9月6日付各紙）。

（5）イスラエルとの天然ガス取引合意に対する抗議活動

9月29日、ヨルダン大学でイスラエルとの天然ガス取引合意に対する学生約2,500人による抗議活動があった。

（6）観光客を狙った客引き取り締まり結果

9月28日、アンマン市内でレストランやナイトクラブ周辺の観光客相手の客引きに対する取り締まりを政府が行ったところ、逮捕された10名は、違法薬物の所持者がいたほか、強盗・武器不法所持・殺人未遂などの容疑者であった。

3 テロ・爆弾事件発生状況

なし。

4 誘拐・脅迫事件発生情報

なし。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

8月中旬 日系企業事務所に空き巣が入る事案が発生した。

（了）